

# 華頂短期大学で幼児教育・保育を学ぶ 3つのポイント

## その1 初心者も安心！充実のピアノ教育

### ココが違う！華頂のピアノ教育

幼稚園・保育所の先生として働くためには、“ピアノ”は欠かせません。

しかし…「楽譜が読めない…」「ピアノに触れたことがない…」と、諦めるのはまだ早い！

華頂短期大学 幼児教育学科は、特にピアノ教育に力を入れており、毎年多くのピアノ初心者の方が

入学しています。AO選考や公募推薦選考などで入学予定の方を対象に、入学前導入教育の一環として「初心者対象ピアノレッスン」を実施。

音楽の授業ではピアノのレベル別にグループ編成を行い、個別に近いレッスンを毎週実施しています。

今回は、音楽の授業を指導されている2人の先生にお話を伺いました！

Q.ピアノに触れたことがなく、心配です…。

A.今は弾けなくても…心配しないで！

### 入学してからの毎日の練習の積み重ねが大事です！

「楽譜が読めない」「ピアノに触れたことがない」という方もおられますが、本学では入学にあたってのピアノの技術力は問うていません。

入学してからの日々の練習が大切！まじめにコツコツ取り組むことが大事ですし、私たちも学生の努力している姿をちゃんと見ています。初心者でも、

毎日空き時間や放課後にピアノ練習室で一生懸命練習して、上達していく先輩も多くいますので、今弾けないからといって諦めないでください。

受験生の方に、「入学までにしておいた方が良いことはありますか？」と質問を受けることもよくありますが、①機会があればピアノに触れておくこと、

②音符を読む練習をすること、この2つをお勧めしています。入学前に取り組むことで、みなさんの気持ちも少し楽になるのではないかな、と思います。

Q.音楽の授業は、どんな感じで進んでいくのですか？

### A.進度に合わせた少人数グループでのレッスンです

音楽の授業では、時間を分けてピアノレッスンと声楽（歌）レッスンを行います。ピアノレッスンは、入学後、

音楽経験についてのアンケートをとり、グループ分けを行います。進度がほぼ一緒の人が同じグループになる

よう編成し、1グループ2～3人の学生を1人の先生が指導する、という形で進みます。1グループあたりのレッスン時間は45分、つまり1人あたり

15分の個人レッスンですが、同じグループの他のメンバーのレッスン中も後ろで見えています。他の人が先生から受ける指導を見て、自分自身も気を付ける

ことなどを学んでいきます。

1回生が終わるまでにはバイエルを全員終了するよう指導をしていますし、子どものうた、生活のうたのレパートリーも増やしていきます。

Q.もっと、ピアノ教育のことについて知りたい！

### A. 実習や就職してからも“つながる”華頂のピアノ教育

1回生の音楽の授業では、はじめての実習（保育実習）に向けて必要な音楽技術を身につけていきます。

←これは、「子どものうた」という、音楽の授業の教材として学生に無料で配付している本学独自のテキスト。ピアノ教則

本のレッスンと並行して、弾き歌いや声楽のレッスンで使用します。みなさんも子どもの頃に歌ったことのある歌や、

あいさつなど生活に関わる歌がたくさん詰まっています。保育所や幼稚園での実習はもちろん、就職してからも、日々の

保育の中で使える曲がたくさんあり、卒業後も重宝している先輩もたくさんいます。

**Pick UP!** 個室のピアノ練習室では、  
一人でも・友達とも・先生とも練習できる環境です！

学内にある25部屋の個室のピアノ練習室は、学校が開いている時間は基本的に使用することができます。

一人で練習するのももちろんですが、友達同士で教え合いながら練習している風景もよく見られます。また、ピアノ練習室のすぐそばには音楽の授業を

担当する先生の研究室があります。わからないことがあればすぐ質問に行くことができ、「ピアノの練習が楽しかった！」という先輩も多くいます。



華頂短期大学 幼児教育学科

小川 隆昭 講師

坂口 みゆき 講師

